

取引先さま各位

## カカオ・チョコレート週刊ニュース 4号

2012/6/25 発行

株式会社 立花商店

生田 渉

お世話になります。カカオ・チョコレート関連のニュースを前週の出来毎の中から注目ニュースを 5 本ピックアップして、発行しています。カカオやチョコレート中心に取り扱っております弊社と致しましては、広く関係者の方々に読んでいただけるように、少しずつでも有益な情報をお届けできればと考えております。宜しくお願い致します。

### 1、ハーシー社、メキシコでのカカオ生産拡大を目指す (6/21)

ハーシー社はメキシコで、霜害で減少したカカオ生産者に対して、病害に強いカカオの品種を無償で提供することで減少しつつある同国のカカオの再生・拡大を目指すと発表した。同社はこれから 10 年で同国のカカオ生産の生産性は急速に高まり、国内で販売される同社製品にメキシコ国内で採取したカカオをさらに多く使うことが出来るだろうと語った。

ハーシー社は北米最大のチョコレートメーカーであり、Reese'S ブランドのピーナッツバターメーカーであるが、今回、メキシコ ECOM COCOA グループの Agroindustrias Unidas de Cacao SA de CV というカカオ豆集荷業者と 10 年にわたる長期のカカオ生産プロジェクトを立ち上げた。

このプロジェクトはメキシコの南部で行われ、初期段階では 2.8 百万米ドル(約 2.24 億円)でカカオポッドやカカオ木自体を攻撃する霜害やモリニア病のカカオを対象に、これを病気に強い新しいハイブリッド種のカカオを生産者に無償で配布し、新たに植えてもらうことで、同国のカカオ生産を増やしていく計画。

同社は『このプロジェクトのゴールは、農家の生産性の向上を援助することであり、カカオ産業の復興であり、当社がより多くの原料を同国から購入出来るようになるのが望みである』と意欲的である。但し、苗木を貰った生産者は必ず同社にカカオを販売する義務を負うわけではない。

ハーシー社はすでにメキシコで 40 年以上事業を行っているが、同国自体は昔からカカオの生産が特別多かった国ではない。しかしながら 2003/2004 シーズンに 44,000 トンあった生産量が 2010/2011 シーズンで 20,000 トンと半減してしまっていた。

メキシコでのカカオ需要は、15~64 歳までの勤労年代の人口増加に伴い、チョコレート商品などの嗜好品の需要が今後更に高まると専門家は予測している。

ハーシー社によれば、同国は、現在カカオの純輸入国になっており、自国の消費量を生産量で賄えていない為、より多くのカカオ生産が必要だとしている。

メキシコへのカカオ関連の投資はハーシー社だけではない、2 月にはフェレロ社が 190 百万米ドル(約 152 億)でメキシコの Guanajuato 州に『Kinder』と『Nutella』商品を同国内

需要と北米の需要向けに製造する工場を建設する計画を発表している。

## 2、ブラジルの5月カカオ豆摩砕数量前年比13%ダウン(6/20)

ブラジルの5月のカカオ豆摩砕数量 18,556 トンで昨年同月の 21,427 トンと比較し、13%減少した。ブラジルは現在世界第6位のカカオ生産国である。

ブラジルのカカオ豆の1年間の摩砕数量の実績は下記の通りである。

	<u>トン</u>	<u>バック (60-kg)</u>
MAY '12	18,556	309,273
APR '12	20,009	333,487
MAR '12	20,269	337,818
FEB '12	19,396	323,265 6
JAN '12	20,810	346,839
DEC '11	20,489	341,485
NOV '11	20,442	340,695
OCT '11	20,406	340,100
SEPT'11	20,564	342,739
AUG '11	19,739	328,988
JUL '11	20,445	340,754
JUN '11	19,661	327,680
MAY '11	21,427	357,108

## 3、コートジボワール、サンペドロ港のカカオ着荷数量が6/10までに573,690トンに(6/20)

コートジのコーヒー・カカオカウンシルの発表によれば、同国のカカオの主要港の1つであるサンペドロ港の6/10までの今シーズンの着荷数量が573,690トンに達した。昨年2010/2011シーズンは同時期までで462,776トンに対し増加となっている。

また、6/4-6/10の1週間での同港への着荷数量は11820トンで昨年の12525トンから減少。

一方、アビジャン港のデータは現在まだ精緻化されていない。

《サンペドロ港での主要なカカオ業者の集荷状況》 単位：トン

<u>カカオ業者</u>	<u>6/4~6/10</u>	<u>今シーズン計</u>
*SACO-Barry Callebaut (Switzerland)	2,376	97,922
SAF-CACAO	2,111	82,609
Cargill West Africa (U.S)	1,162	74,084
ADM Cocoa Sifca-ADM Cocoa (U.S)	1,172	71,087
TOUTON Negoce (France)	628	43,964
OUTSPAN-OLAM (Singapore)	413	40,305

CEMOI-Cantallou (France)	1,287	27,412
ARMAJARO (U.K)	443	24,799
ZAMACOM-Ecom Trading (Switzerland)	278	22,690
*SUCSO	619	21,127
COCAF-NOBLE (Singapore)	0	18,006
NOVEL (Switzerland)	0	12,272

#### 4、コートジボワール、カカオ豆への降雨の影響まちまち (6/19)

コートジボワールのカカオ豆農家とアナリストは18日、同国の南部、西部の主産地が先週、大雨に見舞われたことを受けて、作物の病気や洪水に対する新たな懸念が生じたと述べた。ただ、降雨が作物の生育にプラスとなる地域もあるとの指摘も出ている。

コートジボワールでは、乾燥天候が5カ月間続いたことにより、ミッドクropp期（4～9月）の収穫開始が遅れ、生産量全体への見通しが悪化した。

南東部のアボイツ付近の農家は「多くの洪水が発生したことから、切実に日照時間が必要だ。日照がなければ、害虫が農園を襲い始めるだろう」と述べた。一方、西部のダロアの農家は、2度にわたる十分な降雨により、カカオの木に好影響が及ぶ可能性があるとの指摘した。ある関係者は「降雨パターンは良好だ。これが続くとともに、日照時間も確保されれば、何も問題はないだろう」と述べた。

#### 5、チョコレート、心臓病の発病リスクを低減－英ケンブリッジ大チーム

(2011年8月29日) \*以前の記事よりピックアップ

チョコレートを食べると心臓病の発病リスクが約3分の1低下するという研究結果を、英ケンブリッジ大のチームが29日、欧州心臓病学会で発表した。なぜそういう関連があるかは不明だとしている。研究成果は英医学誌ブリティッシュ・メディカル・ジャーナルのオンライン版にも掲載された。

ここ数年、チョコレートが健康に良いと示唆する一連の研究結果が出されており、特にダークチョコレートに含まれるフラボノイドが血液循環系に良いとみられている。

ケンブリッジ大のオスカー・フランコ氏は、効果を明確にするため、計10万人を対象とした7件の研究結果を収拾。うち5件の研究では、チョコレートの摂取と心血管の健康状態に有益な相関関係があった。2件では認められなかった。

全般的に、チョコレート消費量が最高水準の場合、最低水準の場合と比べ心血管疾病が37%減少し、発作は29%減少していた。

だが、チョコレートを好きなだけ食べていいというわけではない。

研究チームは、チョコレートの持つ不健康な特徴が利点を容易に上回りうると指摘。「商業的に入手できるチョコレートの砂糖と脂肪の含有量の高さは考慮されるべきだ。これらを減らす試みにより、チョコレートの有益な効果はより発揮されるかもしれない」とした。

\*特記のない記事のソースはロイター通信社の記事より抜粋、要約、集約したものです。

\*その他のソースについてはソース名の根拠を記載するように致します。

## 参考資料 ; コートジボワール VS ガーナの比較

	コートジボワール	ガーナ
面積	322436 平方キロメートル <b>*日本の 90%</b>	238,537 平方キロメートル <b>*日本の 66%程度</b>
人口	2160 万人 (2010 年 UNFPA)	2422 万人 (2010 年国勢)
言語	フランス語	英語
宗教	イスラム 30%、キリスト 10% 伝統宗教 60%	キリスト 50%、イスラム教 15% 伝統宗教 35%
GDP	233 億米ドル (1.86 兆円) *09 世銀	301 億米ドル (2.4 兆円) *10 世銀
一人当たり GNI	1106 米ドル (88,000 千円) *09 世銀	1240 米ドル (99,000 千円) *10 世銀
経済成長率	3.6% *09 世銀	13.6% *11 ガーナ政府
総貿易額	輸出 91 億米ドル (7280 億円) 輸入 65 億米ドル (5200 億円)	輸出 128 億米ドル (1 兆円) 輸入 154 億米ドル (1.2 兆円)

視点：①ガーナの昨年の経済成長率は世界中でもトップ水準。

②ガーナの輸入金額や一人当たり GNI が示す通り、ガーナ国内の内需が高まっている。

③各国の輸出総額に占めるカカオの割合はカカオ豆換算で

コートジボワール 3,000 億円で約 41%      ガーナ 2,000 億円で約 20%

(コートジ 150 万トン、ガーナ 100 万トン、平均価格を 2500 米ドル、1 ドル=80 円で換算)

よって、コートジの方がより国全体の収入をカカオ産業に依存していると言える。

《お問い合わせ先、配信希望または、停止のご連絡先》

株式会社 立花商店 東京支店 生田 TEL03-5783-3545

メールアドレス : w-ikuta@tachibana-grp.co.jp